



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾で、深い歴史を持つ山

第16号

発行 佐野市町長連合会
編集 会報編集部会

救命訓練の様子

起震車による地震体験

バルーン投光器実演

避難訓練及び講習・実習

佐野市、佐野市消防本部、佐野警察署、佐野市消防団、佐野市女性防火クラブ、地元3町会が連携し、「集中豪雨（梅雨前線）」により、会沢地区に土砂災害警戒情報が発表されたことから、佐野市は会沢地区3町会に対して避難勧告を発令した」という想定のもと訓練が行われました。防災行政無線を通して地区内の約260世帯に「避難勧告」が発令されると、避難所に指定された会沢地区コミュニティセンターへ、徒歩や自家用

近年、全国各地で台風や地震による土砂災害で、多くの尊い人命が失われています。土砂災害警戒区域を多く抱えている会沢地区では、住民参加による実践的な訓練を実施することにより、住民の防災に関する知識と防災意識の高揚を図り、万が一土砂災害が発生した際、土砂災害の被害を軽減することを目的として開催しました。

開催した経緯

会沢地区

車で約100名の住民が避難を行いました。

避難訓練終了後、佐野市危機管理課職員による防災知識啓発講習会が行われました。訓練参加者は、いざというとき迅速に行動することができるよう、消防署職員や女性消防団の指示を受けながら、AED（自動体外式除細動器）の使い方を含む救急救命講習や水消火器を使った消火訓練、起震車による地震体験に参加しました。

また、特殊災害支援車や、バルーン投光器等の災害時に活躍する車両や機材の使用方法を学びました。

防災訓練を終えて

会沢第二 相子一雄町長談

これまで会沢地区では災害が少なかつたこともあり、防災に対する意識が低かつたが、当地区には土砂災害警戒区域が多く点在し、いつ災害に合うかわからない状況です。今回の訓練では、万一の際の避難方法の確認やAEDを使用した人命救助等について学ぶことが出来まして、大変勉強になりました。今後も機会があれば住民の協力を得て、地域で防災訓練等の取り組みを進めていければ良いと考えております。

平成27年度の事業報告(概要) 平成27年度は主に次の事業を行いました

全市一斉清掃・道路愛護活動

栃木環境美化県民運動に合わせ、5月31日(日)に全町会による一斉清掃を実施し、9tを超えるごみを回収しました。また、8月にも道路愛護月間として町会による清掃活動を行いました。



その他の事業

- 地域づくり検討部会の開催(全3回)
- 会報誌の発行(年2回)
- 仙台市泉区連合町内会視察受入
- 空き家実態調査の実施協力
- 栃木県自治会連合会事業への参加等



視察研修

7月15日(水)全町長を対象とした視察研修会を長野県大町市において実施し、「自治会への加入促進の取り組み状況について」「自治会役員のなり手・後継者不足問題への取り組み状況について」などについて意見交換を行いました。



地域課題の解決

地域づくり検討部会において、地域における課題や今後の検討事項について、行政と連携して課題の解決に取り組みます。



平成28年度の主な事業

会報の作成

市民の皆さんに、より多くの町会に関する情報をお知らせするため、会報を年2回発行いたします。

行政と町会について

行政と町会との関係性を整理し協働体制がとれるように、行政機関及び地域担当職員と共に課題に取り組んでまいります。

その他として

- 観察研修
- 全市一斉清掃
- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体・会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参加等



熊本地震災害義援金贈呈式の様子

佐野市町長連合会会长 上岡良雄

4月14日に発生した熊本地震災害被災地支援のため実施しました「熊本地震義援金募金」について、全町会(167町会)に協力をお願いしましたところ、多くの市民の皆様から善意が寄せられ、募金総額9,696,554円の净財を頂きました。つきましては、6月13日、窓口であります「日本赤十字社佐野市地区・地区長 佐野市長」に納めて参りました。取りまとめに奔走されました町会長様並びに、多くの市民の皆様に対し心から感謝と御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

熊本地震義援金について(御礼)

地方創生について

我が国の将来を左右する課題として人口減少問題が提起されております。目標は、少子高齢化をいかに乗り越え、社会、経済の活力を維持していくかが重要な課題であります。

国は将来人口減が懸念されることがから、一億総活躍社会構想に向け三つの矢として、「希望を生み出す強い経済・夢をつむぐ子育て支援・安心につながる社会保障」を挙げ様々な施策を打ち出しておられます。各自治体でもそれぞれの地の利を活かした構想が検討されております。

佐野市においては、2060年目標人口を85,000人と設定し、長期ビジョンとして「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略構想」を四つの基本目標「安定したしごとをつくる、新しい人の流れをつくる、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、時代にあつた地域をつくり、安心な暮らしを守る」を中心に将来の佐野市に相応しいまちづくり策定が、人□対策検討委員会や創生懇談会が設置され検討されました。

我が国の将来を左右する課題として人口減少問題が提起されております。目標は、少子高齢化をいかに乗り越え、社会、経済の活力を維持していくかが重要な課題であります。

国は将来人口減が懸念されることがから、一億総活躍社会構想に向け三つの矢として、「希望を生み出す強い経済・夢をつむぐ子育て支援・安心につながる社会保障」を挙げ様々な施策を打ち出しておられます。各自治体でもそれぞれの地の利を活かした構想が検討されております。



町長連合会での協議の様子

国は将来人口減が懸念されることがから、一億総活躍社会構想に向け三つの矢として、「希望を生み出す強い経済・夢をつむぐ子育て支援・安心につながる社会保障」を挙げ様々な施策を打ち出しておられます。各自治体でもそれぞれの地の利を活かした構想が検討されております。

国は将来人口減が懸念されることがから、一億総活躍社会構想に向け三つの矢として、「希望を生み出す強い経済・夢をつむぐ子育て支援・安心につながる社会保障」を挙げ様々な施策を打ち出しておられます。各自治体でもそれぞれの地の利を活かした構想が検討されております。

今後も少子高齢化による減少が考

人口減の要因として「自然減と社会減」が考えられます。自然減については、今後毎年その成果については検討することになります。地方創生は、女性にとって魅力的なまちづくり、社会づくりが欠かせません。

人口減の要因として「自然減と社会減」が考えられます。自然減については、今後毎年その成果については検討することになります。地方創生は、女性にとって魅力的なまちづくり、社会づくりが肝要であります。

人口減少問題は、地域経済や地域社会に大きな影響を与えることになり、これを克服するにはすべての市民と、市内に所在する企業、団体、行政が協働により取り組んでいくことが必要であります。少子高齢社会における人口問題に対応するには、転出者の抑制策と転入者の増加を見込む社会構造の改善と、出生率の向上による自然増加を目指す抜本的改革も必要であり「佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本に地域住民が安心して働くことが出来、安心して暮らしていける社会づくりを目指した適切な構築策定を望みます。将来像について皆さん一緒に考えようではありませんか!!

創生懇談会委員 上岡良雄

町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- 安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- 親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- 環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- 地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回観板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効な手段であると言われています。
- 地域福祉活動** 民生委員・児童委員を初め、福祉協力員、町会役員が協働によるまちづくりを推進するため、隣保活動を中心に相互扶助を通じ地域福祉の向上を目指した活動を行っています。

モデル町会紹介

船越北町会

(イベント交流事業・れんげ祭りなど)

船越北町会は、市の北西部に位置する町会です。同町会では、昨年度から市民活動モデル町会の指定を受け、地域の町会の皆様との

交流を図るためのれんげ祭りやそば祭り、耕作放棄地再生のための作物栽培、イノシシやシカの被害対策として設置されている防護ネット周辺の草刈り等の作業を行っています。町会では春にれんげ祭り、年末には日頃より活動にご協力をいただいている方への感謝の集いが開催されています。4月24日には、れんげ祭りが公民館南側のれんげ畑で開催され、子どもから高齢者まで多くの方が参加し、いもフライ・焼きそばなどが振るまわれ、楽しい一日となりました。これからも事業を通して地域住民の交流、耕作放棄地の再生、環境美化等に取り組んでいくことがあります。

船越北 向田守男 町会長談



米山町会

(花いっぱい活動)

米山町会は、市の南東部に位置する町会です。同町会は、0世帯で構成された町会で、隣同士が知り合い、声をかけ

あつて助け合える町会を目指して、清掃活動や花いっぱい活動（花苗の植付）、消火器の安全講習などの様々な活動を行っています。今年で8年目を迎えるこの活動も、最初は町会の環境美化活動として女性会だけで実施していましたが、昨年度から市民活動モデル町会の指定を受け、町会全体で取り組むようになり、現在、号棟内8か所で花苗の植付や除草清掃活動を行っています。こうした地道な取り組みにより、一年を通して花が咲く町会となっています。

米山町 関根喜美子 町会長談



編集後記

◆本年度より新たな祝日として「山の日」が制定され、県内各地で催しが開催されました。佐野市も山が多い地域ですが、皆様どのようにお過ごしされましたでしょうか。またこれからも時期によります。地域においても万全の対策が求められます。

◆近年、防災に対する住民の意識が高まっています。地域で防災訓練等を行うことにより、防災知識の向上や住民相互の絆を深め、自助・共助をしっかりと行える地域づくりを進めていきたいものです。

◆各町会の地域性を活かした多様な取り組みは、地域住民の絆を強める意味でも非常に重要であると考えます。取り組みの課題を改善しながら継続することにより、地域が発展することに期待します。

◆生活環境の多様化により、各町会の抱える課題も多様化しております。課題解決のために一人一人の地域住民が協働して地域活動を行っていくことが最も重要なのではないですか。

発行者 佐野市町長連合会
〒322-70501

発行責任者
編集部会員
上岡良雄
田中正美
小野一郎
土澤康一
長島信夫
向田守男
秦俊一
発行責任者
編集部会員
上岡良雄
田中正美
小野一郎
土澤康一
長島信夫
向田守男
秦俊一

▼佐野市町長連合会は全域167町会で組織されています。